

アリスイの首ふり行動の謎にせまる

橋間清香(立教大学・理・博士前期課程1年)

加藤貴大(立教大学・理・博士前期課程2年)

多くの生物にとって、生命を脅かす捕食者から身を守ることや、同じ環境で繁殖する生物から繁殖場所を確保することは、子を残すという点で重要である。

そしてある鳥は、そういった「敵」に対して奇妙な行動を見せると噂されている。

アリスイという鳥は、首を振ることによって、自分を蛇だと誤認識させて敵を追い払う、と言われている

しかし、これまでにアリスイの首振り行動についての報告は少数の映像、観察記録だけであり、今まで科学的手法で研究されたことはない

目的

首振り行動は、本当に敵に対して行われるのか調べる

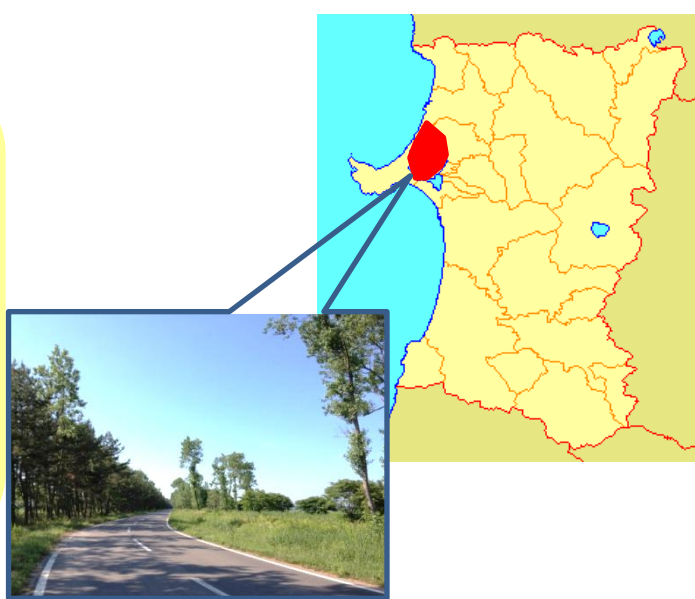
アリスイ *Jinx Torquilla*

- キツツキ科で、日本では北海道や東北で繁殖する鳥
- 頭部のサイズに対する舌の長さは、全生物の中で最長
- 長い舌で蟻ばかりを狙い、捕食
- キツツキ科なのに、自分で巣穴を掘らない



調査地

- 秋田県大潟村
- 日本最大の干拓地 7割が田んぼ
- 防風林に巣箱を50個設置
- スズメ、コムクドリ、シジュウカラも巣箱を頻繁に利用

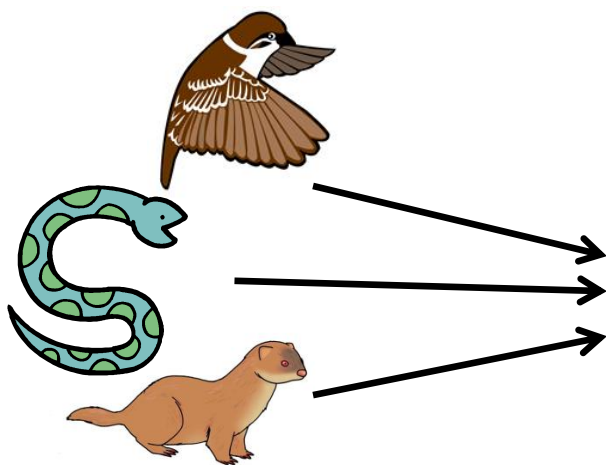


調査内容・方法

1. アリスイが誰に対して、どう反応するのか

巣の外と中を、ビデオで撮影。

→ 鳥相手には首を振るなどの傾向が見られるかもしれない



2. 雛の首振り

雛も首を振る！ (加藤貴大: バードリサーチ調査研究支援プロジェクト2011により発見)

・いつから首振りをするのか？

2日おきに雛を直接観察

・誰に首を振るのか？

1と同様にビデオ撮影



この研究の意味

本研究は首振り行動に対して、初めて科学的な結論を導く